

生活科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態

	1年	2年
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○担任や2年生と一緒に「学校たんけん」をする活動を通して、学校には様々な部屋があり、たくさんの方がいることに気付くことができました。また、部屋にある物や部屋の目的、場所ごとのマナーに気付くことができました。 ○学校には様々な施設があることや、自分たちの学校生活を支えてくれている人がいることに気付くことができました。 ○複数の植物の種を比較して、植物によって種の形や大きさ、色に違いがあることに気付くことができました。 ○春の遊びや夏の遊びの学習を通して、季節によって生活の様子が変わることやその面白さ、自然の不思議さに気付くことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生を自分たちで引率する「学校探検」を通して、1年生との交流を深め、上級生として自分の役割が増えたことに気付きました。また、異学年を含めた集団活動に対する意欲を高めることができました。 ○町で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所に関心を持ち、地域にはさまざまな建物やお店、公共施設あることに気付くことができました。 ○それぞれの野菜にあった世話の仕方があること、ミニトマトと野菜の変化や成長の様子に気付くことができました。
思考力, 判断力, 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○学校にはみんなで気持ちよく安全に過ごすためのルールやマナーがあり、それを考えて行動しようとすることができました。 ○インタビューを通して、学校で働く人が自分たちとどのように繋がっているのか考えることができました。 ○見つけた物・事・人について分かりやすく伝えるためにカードに書き、発表することができました。 ○アサガオの栽培活動を行う中で、それらが育つ場所・変化や成長の様子に関心を持ち、よりよい成長を願って世話の仕方を考えたり、工夫したりすることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校探検」における、各教室を1年生に紹介するポスターを作る活動を通して、教室の使い方などを調べたりインタビューしたりし、1年生が分かりやすいポスターを文や絵を用いて表現することができました。 ○町で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所との関わりについて、自分なりに考えたり、振り返ったりして、カードにまとめることができました。 ○ミニトマトの栽培について、長さ、触った感じなど、観察する視点をもとに、成長の様子を観察カードにまとめることができました。よりよい育て方について考えることができました。
学びに向かう力, 人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○学校内の施設や人々に関心を持ち、楽しく探検しようとしていました。また、繰り返し関わろうとしていました。 ○見つけた物・事・人について先生や友達に意欲的に話したり友達の話をお聞きしたりしてしていました。 ○アサガオなどを中心に動植物に関心を持ち、発芽や成長を楽しみながら、思いや願いをもって関わろうとしていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生に学校を案内する活動を通して、上級生としての自覚を持ち、下級生の世話をしたり、優しく声掛けをしたりしてしていました。 ○町で生活したり、働いたりしている人々や様々な場所のよさに気付くことができ、積極的に関わろうとしていました。 ○自分で育てている野菜の成長を楽しみにしながら、継続的に世話をし、大切に育てようとするなど、動植物に意欲的にかかわろうとしました。

2 課題と改善策、検証方法

	1年	2年
課題	<p>○関心をもち、積極的にかかわろうとする児童が多いですが、楽しくなりすぎてしまい、声掛けをしないと進んで活動できない児童がいます。</p> <p>○考えたことや工夫したこと等を表現することが苦手な児童がいます。</p>	<p>○積極的に1年生と関わりをもって活動しようとする児童がいる一方で、受動的になってしまい、自分から関わりをもとうとしない児童がいます。</p> <p>○身の回りの生き物に関心をもち、積極的にかかわろうとする児童がいる一方で、声掛けをしないと進んでできない児童がいます。</p>
改善策	<p>○学習のめあて・やるべきことを明確にしていきます。</p> <p>○一度に多くの指示を出さず、ひとつずつゆとりをもって活動できるようにしていきます。</p> <p>○振り返りの時間をしっかりととり、考えたことを伝えあう場をつくります。この場をつくることで、表現することが苦手な児童が、「自分では考えられなかったけど、○○さんの考えと似ている。」と気づき、表現できる手助けとなるようにしていきます。</p> <p>○3学期には昔のおもちゃで遊ぶ授業を計画し、その中で児童一人ひとりの思いを実現していき、自然と考えや工夫を話したくなるようにしていきます。</p> <p>○同学年による活動だけでなく、異学年との交流を増やし、表現の仕方を学ぶ機会をつくります。</p>	<p>○主の活動となる「学校探検」の事前指導をより充実させていきます。「どのような活動（遊び等）を1年生と行うか」「どのように自分たちの事を知ってもらおうか」などをこどもたちに考えさせる活動を取り入れ、「学校探検」や1年生との交流により意欲的に取り組めるようにしていきます。</p> <p>○振り返りの活動を充実させます。「今後1年生とどのように関わっていきたいか」意見を考えさせ、それを学級で共有できるようにしていきます。</p> <p>○子どもたちが十分に意欲をもって活動できるようゆったりと時間をとり、関心をさらに広げられるようにしていきます。</p> <p>○活動するときには、見る視点を定めるようにします。</p> <p>○自然の中での体験をさらに増やし、遊び方や楽しみ方の工夫について話し合い活動をさせたり、他者に五感を通して分かってもらえるように言葉や絵、体での表現を工夫させたりしていきます。</p> <p>○同学年による活動だけでなく、異学年との交流を増やし、共に活動する楽しさが分かるような体験をさせて友だちのよさに気付けるようにしていきます。</p> <p>○児童同士の交流を増やし、お互いによいと思ったところを発表し合い認め合う活動をします。</p>
検証方法	<p>○自分の思いや、それを実現させるための方法や工夫などを書いたカードや活動の様子をもとに、児童の学習の様子を見取ります。</p>	<p>○興味・関心をもっているか児童の活動の様子を観察します。</p> <p>○生活科カードに記録された内容を確認します。</p>